

## 市民福祉講座 3

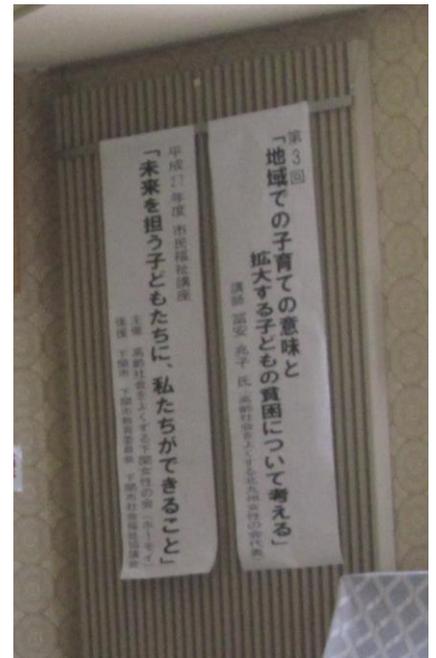
### 「未来を担う子どもたちに、私たちができること」

地域での子育ての意味と  
拡大する子どもの貧困について考える

2015年9月26日下関市社会福祉センター

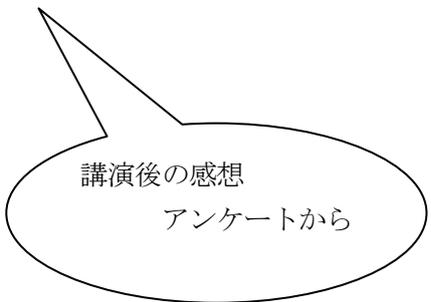
講師：富安兆子

(高齢社会をよくする北九州女性の会代表)



- 貧困率の国際比較やシングルマザーの就労率など、様々なグラフや表などの資料がよかった。
- 非常に重要なテーマですが、下関市に於ける関心の低さが気になります。全国的に子育て環境の整備が進む中、下関が遅れることのないようにしないとはいけません。今後とも、この取り組みをよろしくをお願いします。
- 世界の中の日本の子育ての現状が、大変よく分かりました。でも、シングルマザーの就労率が一位とはショックでした。
- 住民の共助の必要性を感じました。下関市民に改革する気持ちをもっと持ってほしい。
- 子供の貧困の原因やそれから及ぼされる影響について、データを見ながら、日本が「豊かな国」「安心・安全」から程遠いということを実感しました。特に、一人親家庭の厳しい現実…何かできることはないかと考えさせられました。また、子育て中の母親の孤立感、ストレスについても、自分の経験からも身につまされます。地域社会で、子供に対する温かいまなざしが持てたら…！

- 経済大国の日本（世界第三位）が、子供の貧困大国である現実を、私たちはもっと深刻に受け止めなくてはと思う。子どもは親を選べない。家族依存的な日本の子育てではなく、子供は社会が育てるという意識を持って、日常的に政策の提言や政治に関心を持って、市民の手でよりよい社会を創るという意識を持つことが、重要だと考えさせられました。
- ごく普通の家庭に育ったので、貧困家庭の現状が見えていませんでした。貧困の負の連鎖に驚いています。マスコミや世間話などで、生活保護を受けている人が、汗水たらして働いている
- 人より贅沢な生活をしている話を聞いたり、現にそういう人を見ているので、尚更驚きでした。勉強します。
- 他人のために役立つ人生でありたいし、困った時は、人にも手を借りたいと思いました。
- 理解するのに時間がかかって、分かりにくいことが多かった。
- 改めて、政治に関心を持ち、市民にとってより良い政治をしてくれる人を選びたいと思った。
- 昨年8月に、「貧困の世代間連鎖を断ち切る」という基本方針を掲げて、「子供の貧困対策大綱」が閣議決定されたということ、このたびの資料で初めて知りました。また、現在の子供の貧困の要因として、生活の不安定化、所得格差、貧困の拡大、ひとり親家庭の増加、未婚での出産、離婚、家族の養育機能障害等々が挙げられており、問題の多さに心が痛みます。世界第三位の経済大国と安心してはおれない状況がよく分かりました。ともあれ、子供の問題に関心を持つための講演が聴けたことは大変有意義でした。
- 「死ぬとはどういうことか？」死ぬとは良く生きること。そのためには「誰かのために生きること」。誰かのために生きるとは幸福である。いつも私自身思っていることで、活動できることは幸福です。
- 高齢女性の貧困問題がとても気になります。政治に関心を持ち、政治家を選ぶことが大切だといつも思っています。そして、男女共同参画社会の構築が急がれます。



講演後の感想  
アンケートから